

SSH・文京 夏季特別講座 **～科学知の技法～**

発展的な生物学的研究手法を学ぶことができる、実験講座を企画しました。ぜひご参加ください。

比較解剖で理解する脊椎動物のからだ講座

日 程 ① 8月4日 (月) 9:30～17:00

② 8月5日 (火) 9:30～17:00

①②連続受講20名募集

会 場 : 文京学院大学女子高等学校 生物室

(JR山手線: 駒込駅・巣鴨駅ともに徒歩4分)

113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3



参加費 : SSHの支援により無料(傷害保険も本校センターで加入) ※交通費は各自負担

対 象 : 地域のSSH高校生および先生方(生徒と教員が共に学ぶ研修会です) 各回20名程度

申込締切り: 7月31日(木) (本校ホームページのWeb 申込みフォームより)

【脊椎動物のからだ講座】

固定済み「サメ・カエル・ブタ」の標本を肉眼解剖学的手法で系統的に解剖して、比較解剖学的に臓器の配置やつながりを確認しながら形態から見た脊椎動物の系統進化を探ります。摘出した標本は持ち帰って教材としてご活用いただけます。

夏季: ブタの系統解剖を中心に実施

8月4日: 体表観察、剥皮、筋・末梢神経・末梢血管の観察・頸部内臓の観察

8月5日: 胸部内臓・腹部内臓の観察、脳の摘出と観察、(サメの観察)

*2月にも続編を予定しています。とくに脊椎動物の比較解剖学(サメ・カエル)を中心として実施予定です。

■指導:

樋口 桂(文京学院大学・保健医療技術学部・准教授・医学博士・科学教育センター専門委員長)

川崎堅三(鶴見大学・歯学部・名誉教授、文京学院大学・講師・歯学博士)

□申し込みの際の注意事項

解剖で使用するブタ・サメ標本(各50cm程)は、薄いホルマリン・アルコールで固定・殺菌処理された解剖実習専用のきわめて衛生的な標本です。血管系に色素樹脂が注入されており、解剖中に出血はありません。ただし、ホルマリンなどの化学物質過敏症の方や解剖観察自体が苦手な方は、受講をご遠慮ください。

■引率の先生は、メールで以下の連絡をおねがいいたします。 amamiya@bgu.ac.jp

- ・学校名、学校所在地(学校の最寄り駅もお知らせください)、学校電話番号
- ・引率(参加)教員氏名(参加教員全員分)、引率教員の連絡先(携帯など)、連絡用のメールアドレス(携帯メールの場合はPCメールを受信できるように設定しておいてください)
- ・参加生徒人数と氏名(保険加入のために必要となります)を事前にご確認ください。

※個人情報厳重に管理し、科学教育センターからの連絡用のみに使用いたします。

講座企画・監修: 文京学院大学女子高等学校・SSH教育センター・SSH運営専門委員会(樋口 桂)

お問い合わせ : 文京学院大学女子高等学校・SSH教育センター(雨宮まで)

電話 03-3946-5301 e-mail : amamiya@bgu.ac.jp